

長野県介護支援専門員実務研修
「実習Ⅰ ケアプランの作成演習」について

社会福祉法人長野県社会福祉協議会

1. 実習の目的

研修で学んだことを活かし、要介護高齢者等を対象に演習を行うことにより、下記の事項について介護支援専門員の実務内容をより深く理解することを目的とする。

- (1) 利用者の思いを理解するための相談面接方法について学ぶ。
- (2) 利用者の持つ力（ストレングス）に着目したアセスメントを実践する。
- (3) 利用者の持つ社会資源に対する理解を深める。

2. 実習報告書について

実習Ⅰでは以下の様式を作成してください。

- (1) 実習承諾書・誓約書
- (2) 実習振り返りシート [様式1号]
- (3) 事例の概要 [様式2号]
- (4) 情報収集シート [様式3号]
- (5) 介護サービス計画書（ケアプラン） [様式4-1号(居宅用第1・2表)・4-2号(施設用1・2表)]
- (6) 社会資源調査票 [様式5-1号(居宅用)・5-2号(施設用)]

3. 実習内容と流れ

《実習の流れ》

①実習協力者の選出 ⇒ ②実習説明 ⇒ ③面接 ⇒ ④様式2～4号の作成 ⇒ ⑤社会資源調査 ⇒
⑥様式5号の作成 ⇒ ⑦様式1号の作成

① 実習協力者の選出

実習Ⅱとは異なり、各自で実習協力者を見つけて実習協力を依頼します。

実習協力者の対象者は実習者の親族を除いた以下のとおりです。

- (1) 要介護認定を受けている人（要支援認定者を除く）
- (2) 要介護認定を受けていなくても明らかに要介護状態にあると思われる人

※上記の要件を満たす者であれば、実習者の所属先のサービス利用者でも構いません。

② 実習説明

(1) 実習協力者と家族に対して下記の点を踏まえて実習に関する説明を行って下さい。

- ・本実習が介護支援専門員資格を取得するための研修の一環であること
- ・協力していただきたい内容の趣旨及び説明
- ・個人の情報を守る事の約束

(2) 上記の内容について説明をして理解を得た後、書面により承諾を得てください。

承諾書については2通作成し、1通は受講者各自で保管し、1通は実習協力者に渡してください。

※後期研修初日に実習報告書と併せて受講者用の承諾書の写しを1部事務局へ提出してください。

※実習承諾書について、実習協力者が自署することが困難な場合には、親族等に代理で記名してもらい、代筆者氏名欄に代筆者の氏名及び協力者との続柄を記載してもらってください。

★承諾を得る際の注意点

- ・協力者本人だけでなく、家族と面接できる方を実習協力者として選んでください。
- ・自署することが困難で、家族の同意が取れない方は実習協力者に選ばないでください。

③ 面接の実施

- ・実習協力者とその家族と直接会って、これまでの生活状況やこれからの生活に対する意向等を聴取してください。
- ・面接は必ず1回以上行い、課題分析ができるように協力が得られる範囲で複数回面接を行ってください。
- ・面接の際には以下の点に留意してください。
 - (1) 研修で学んだ相談面接技術、ケアマネジメントの視点を踏まえ、面接目的を明らかにする等の準備を整えてから訪問してください。
 - (2) 実習協力者の健康状態等により、時間や場所に配慮が必要か、事前に確認してください。
 - (3) 原則として、面接中に記録するのではなく、自宅に戻ってから記録をしてください。但し、面接中にメモ等が必要な場合は、予め実習協力者に許可を得てから行ってください。

★注意事項

- ・実習協力者に担当の介護支援専門員がいる場合は、必ず実習協力者と同様の説明を担当の介護支援専門員に行い、実習の趣旨及び面接を行うことの理解を得てから行ってください。
- ・面接にあたり、担当の介護支援専門員の方に同席して頂いても構いません。但し、報告書の作成は必ずご自身で行ってください。

④ 様式2～4号作成（※記載方法は研修資料を参考にしてください。）

- ・面接や調査で得られた情報をまとめ、下記の事項に留意して実習報告書の作成を行ってください。
- ・短期間では得られない情報や分からないこともあります。収集できた情報の範囲で分析を行い必ず全ての報告書を作成してください。
 - (1) 様式2号『事例の概要』の作成
実習協力者の概要をまとめて記入してください。
 - (2) 様式3号『情報収集シート』の作成
本人、家族、関係者(事業所等)から、実習目的を説明したうえで得られた情報を記入してください。

(3) 様式4号『介護サービス計画書（ケアプラン）』の作成

面接の結果を含め、様々な方法で収集した情報をもとに分析を行い作成して下さい。記入様式は「居宅用」もしくは「施設用」のいずれかを使用して下さい。

居宅用【様式4-1号 第1・2表】：介護保険3施設*以外の場合。特定施設入居者生活介護、グループホームの場合。

施設用【様式4-2号 第1・2表】：介護保険3施設*の場合。

※介護保険3施設

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- ・介護老人保健施設（老人保健施設）
- ・介護療養型医療施設（介護医療院）

上記の施設以外は全て「居宅用」を用いて下さい。

⑤ 社会資源調査

- (1) 調査する地域の範囲は、実習協力者の生活の場を基準として行って下さい。
- (2) 利用の有無に関わらず社会資源をすべて調べて下さい。
- (3) 具体的な有用性を、実習協力者や家族に説明できるように、各社会資源についての特徴と実習協力者との固有の関係性を調べて下さい。
- (4) 施設に入所している方等の場合も同様に、地域と当該施設の関係、実習協力者と地域の関係について調査を行って下さい。

⑥ 様式5号『社会資源調査票』の作成

調査票は「居宅用」もしくは「施設用」のいずれかを使用して下さい。

- (1) 居宅用【様式5-1】：介護保険3施設以外の場合。特定施設入居者生活介護、グループホームの場合。
- (2) 施設用【様式5-2】：介護保険3施設※上記参照の場合。

⑦ 様式1号『実習振り返りシート』の作成

項目1『利用者の理解を深めるにあたり、実習で工夫したことはどのようなことですか？』

➡ 利用者の理解を深めるにあたり、工夫した点を記載

項目2『利用者の理解を深めるにあたり、実習で困ったことはどのような点ですか？』

➡ 利用者の理解を深めるにあたり、面接や情報収集の過程で困ったことを記載

項目3『利用者の理解を深める中で、自分の価値観と利用者の価値観の違いはどのような点でしたか？一番違うと感じた事柄を紹介してください。』 ➡ 協力者と自分自身の価値観が違った部分で一番象徴的な事柄を記載

項目4『利用者の望む暮らしの実現に向けて発生するストレスにはどのようなものが予想されますか？』 ➡ 利用者の理解を深めるにあたり、望む暮らしに向かう中で予測される協力者自身の葛藤や周囲のストレスを記載

項目5『これからの暮らしを考えていく上で、利用者さんにとって大切な関係5つ挙げて、それぞれに根拠を記載してください。』 ➡ 利用者の理解を深めるにあたり、望む暮らしに向かう中で大切な関係とそれぞれの根拠を記載

項目6『**実習で担当した利用者はひとことで言うとどんな方だと紹介できますか?**』

➡ 第三者に利用者の人となりをごどのように紹介できるか記載

項目7『**実習を通じて得た学びのうち、最も大切にしたいことを紹介してください。**』

➡ 感じたことをそのまま記載

4. 実習にあたっての注意事項（倫理的配慮・個人情報保護）

- (1) 個人情報の管理及び実習協力者の心身の健康状態を十分に配慮することなど、介護支援専門員として倫理的配慮を行った上で実習を行って下さい。
- (2) 個人情報保護のため、実習報告書に記載する氏名、市町村名、事業所名などはアルファベットをランダムに用いて記載して下さい。

※実習承諾書・誓約書にのみ、実際の氏名・住所を記載して下さい。

5. 実習報告書の提出について

以下のとおり、後期研修初日（研修第9日目）受付時に提出して下さい。

(1) 持参するもの

- ・実習報告書※両面印刷可（様式1～5号）× 8部
- ・実習承諾書（受講者控）の写し × 1部

実習Ⅱに係る「実習Ⅱ記録シート①②」も忘れずに提出して下さい。

(2) 提出方法について

- ・後期研修初日（第9日目）の受付時に、持参する報告書（8部）のうち1部を事務局用として提出して下さい。残りの報告書（7部）は後期研修におけるグループ演習で使用します。
- ・実習承諾書の写しについては、事務局提出用の報告書（1部）と併せて提出して下さい。
- ・実習報告書は、様式1号から5号の写しの順で左上ホチキス留めを1部として下さい。事務局提出用のみ、様式1号から5号の写しの最後に「実習承諾書の写し」を付けて、一式をまとめてホチキス留めした物を提出して下さい。

針留のホチキスの使用にご協力ください。

6. その他

- (1) 報告書の未提出や記載内容が著しく不十分な場合、再提出もしくは修了証書を交付できない場合がありますので留意して下さい。
- (2) 実習に係る資料及び報告書の様式は、**長野県社会福祉協議会ホームページ「ふれあいネット信州」**（URL <http://nস্যakyo.or.jp/>）からダウンロードできます。

●実習に関するお問い合わせ

社会福祉法人長野県社会福祉協議会 福祉人材部 研修グループ
TEL : 026-226-2000 / FAX : 026-227-0137